

## <マニュアル訂正連絡票>

# FUJITSU Software ASP システムコマンド集 V30

[J2K0-6160-01]

2021年6月29日発行

修正箇所(章節項): 「本書の使い方」の「G. 共通変数」

### 旧記事

@MAXRMSG	ワークステーションメッセージキューのメッセージ蓄積最大数を指定する。 当共通変数を変更した場合は、@SYSRMSG の変更も必要である。	整数型	32~4096 初期値: 1024	不可	次の IPL より有効となる。
----------	---	-----	----------------------	----	-----------------

### 新記事

@MAXRMSG	ワークステーションメッセージキューのメッセージ蓄積最大数を指定する。 当共通変数を変更した場合は、@SYSRMSG の変更も必要である。	整数型	32~4096 初期値: 1024	可	次の IPL より有効となる。
----------	---	-----	----------------------	---	-----------------

2020年9月29日発行

修正箇所(章節項): 「DSPECT (排他制御テーブルの表示: Display Exclusive Control Table)」の「注意事項」

### 旧記事

- OUTPUT-@DSP の場合、画面に表示できるのは 100 ページまでである。100 ページを超える場合は@LIST 指定すること。  
:
- 獲得待ち回数が 2147483647 を越えると値が 1 にリセットされる。また、タイムアウト回数も 65535 を越えると値が 1 にリセットされる。
- システム共通変数@RDBHPMF が@YES の場合、RDB ファイルの獲得状態のみ表示され、SF、ISF、DF の獲得状態は表示されない。

### 新記事

- OUTPUT-@DSP の場合、画面に表示できるのは 100 ページまでである。100 ページを超える場合は@LIST 指定すること。  
:
- 獲得待ち回数が 2147483647 を越えると値が 1 にリセットされる。また、タイムアウト回数も 65535 を越えると値が 1 にリセットされる。
- システム共通変数@RDBHPMF が@YES の場合、RDB ファイルの獲得状態のみ表示され、SF、ISF、DF の獲得状態は表示されない。
- トランザクション区間で大量の更新が行われている状態など、コマンドで処理可能な排他制御テーブルの数を超過している場合は、フレームの VSIZE の値を最大にしても「S0999 フレームの作業域が不足している」で異常終了することがある。この場合、獲得資源を減らし再実行する。

2020年6月30日発行

修正箇所(章節項): EXECPING (PING コマンド:EXECUTE PING) PASTDAY パラメタ

### 旧記事

PASTDAY (整数型): 0~4000

結果ファイルを削除する日数を指定する。コマンド実行日を除いて、ここで指定した日数より古い結果ファイルを削除する。

結果ファイルの削除対象の日付は、ファイル名に付与されている日付より算出する。

「0」を指定すると結果ファイルは削除しない。

## 新記事

PASTDAY (整数型) : 0~4000

結果ファイルを削除する日数を指定する。コマンド実行日を除いて、ここで指定した日数より古い結果ファイルを削除する。

結果ファイルの削除対象の日付は、ファイル名に付与されている日付より算出する。

「0」を指定すると結果ファイルは削除しない。

ファイル削除時、以下のメッセージを出力する。

```
S5034 A EXECPINGからの通知メッセージ
      DELETE RESULT FILE 削除した結果ファイル名
```

---

以上